

より良い親子関係講座

NO 71

親しごとを成功させるために！

1986年春、私は3歳の二女を連れて、ジューン・シートさんの講座に参加した。私が子育てに悩んでいることを知った知人が「この講座、受けてみない？」と誘ってくれたからだ。「え～、その講座ってアメリカののでしょうか？」そう思ったが、背に腹は代えられない。私は娘との関係を一刻も早く何とかしたかったのだ。

手渡されたテキストは英語のテキスト。私は講座の前日までに単語を辞書で調べ、参加した。講座中は知人が通訳してくれたが、当時私はテキストの半分も理解していなかったと思う。それから5年後に日本語のテキストが自宅に届いた。それを持って私は再びジューンさんの講座を受講した。“なるほど、そうだったんだ！”今度はよく理解できた。

当時、夫が精神科クリニックを開業し、私はカウンセリングの勉強をはじめたばかりだった。APのスキルは患者さんにはすぐ役に立った。ところが、わが子には、患者さんのようにうまくいかない。再びテキストを読み直すと、大事なところが抜けていることに気づいた。私には子どもを尊敬するという気持ちがない。尊敬が抜け落ちたまま、学んだスキルだけが先行していた。これではうまくいくわけがない。子どもに伝わるのは気持ちなのだから・・・。

「子どもを尊敬する」「親子の平等」「子どもを信頼する」このような考えは、私の中にはなかった。なぜなら親は子どもより“偉い”と思っていたからだ。しかし私が子どもの頃感じていた親への不満や憤りは、よく考えると「子どものくせに」とか、「口答えするんじゃない」と言われ、自分が一人の人間として大切に扱われていないという気持ちの表れだったように思う。それからは意識して「子どもをバカにするような言い方はしない」「子どもの意見や気持ちはしっかり聴く」「子どもを自分の毛のよように扱わない」それが子どもを一人の人としてたいせつに扱うことであり、「子どもを尊敬する」ことや「親子の平等」に通じることだから・・・。そう信じて、親しごとを続けてきたことで、しぜんに子どもを尊敬できるようになった。

「親になる」ことは、いともたやすいことですが、“親をする”ことはたやすいことではありません」APビデオ・ディレクターの川平朝清氏はこのように言っている。また「勇気づけて育てる」の著者であるルドルフ・ドライカース（アルフレット・アドラーの弟子）は「子どもにしつけが必要なように、親にもトレーニングが必要」と言っている。私は“親をするために”30年前にAPを受講し、トレーニングを受けた。それでも親をすることは私にとってむずかしかった。私の親しごとがほどほどにうまくいったのは、毎日の子どもとのやり取りがAPの実践の場になったからだと思う。あきらめないでやり続けたことで娘との関係も修復できた。成功の鍵？ それは、あきらめないでやり続けること！

注意！親は次のどれでもありません。（レディ・レッスンより）

- ・ATM
- ・いつでも立ち寄って、やりたい放題できる家の管理人
- ・モンスター
- ・子どもの失敗の尻ぬぐいをする責任者
- ・子どもの自立を邪魔する人

♡ハローフレンズ✉♡

A Joyful Reunion

From the time we moved our Family to Japan in 1966, we knew that our children would be going away to boarding school during their teen years, and then to the U.S. for college.

Among the lessons we hoped they would learn from us was to consider that wherever they were was their “home” for that time, and then they would never have to be homesick, because they were always home.

It was also helpful for us even as adults to think that way. For 38 years we traveled back and forth between the U.S. and Japan about every four years, and during that time we never used the phrase, “We’re going home.” Therefore when we were in Japan, we were home, and when we were in the U.S. we were home. This concept may have helped the children, too, as they seemed to have had rather successful adjustments to their lives in various places.

It was a pleasure to be back in our second home the end of April and for two weeks in May. The first morning we were in Fukuoka, my husband came back from a walk and declared it felt as if he had never been away.

It was truly a joy for us to see so many of our old friends. A particularly exciting day for me was May 12 when I was able to be in a room full of beautiful, vivacious AP leaders and other friends of AP. It was an informal gathering and gave everyone a chance to visit and get acquainted with new friends. Then we had a lovely luncheon.

I treasure the time I had with each of you, and with Nonaka San who has worked so hard to make it possible to provide materials and leaders for the parents of Japan.

I carefully brought back the beautiful Origami boxes (with lids!) and roses that one leader gave me, and I will always keep the sweet note that another leader had written me. Thank you for that lovely meeting and the special luncheon we shared together!

As you dream and plan for the future on how to share the message of AP with the busy parents in Japan, I look forward to hearing about new and innovative ways you have thought of in order to connect with people.

I appreciate each one of you and admire your enthusiasm for the splendid program that is AP.

June Seat (APJapan Founder and Friend)

喜びの再会

1966年に家族で福岡へ来た時から子どもたちはいずれ10代になれば家を離れて寮生活をし、その後大学はアメリカへ行くであろうことはわかっていました。

子どもたちに学んでほしいと望んだ教訓の一つに、どこに居ようとその時自分たちが居るところが自分たちのホームであると考えることでした。そうすれば子どもたちは決してホームシックにはならないだろうと思ったのです。なぜなら自分たちはいつもホームなのですから。

大人である私たちですら、そのように考えるのが有益でした。私たちは38年間、4年ごとにアメリカと日本を行ったり来たりしました。その時、私たちは「故国に帰る」という言葉を決して使いませんでした。ですから私たちが日本にいる時は「私たちは故国にいる」、アメリカにいる時も「故国にいる」ということです。このような考えは子どもたちにも有益だったようです。さまざまな場所でもうまく適応した暮らしができたように思えます。

4月の終りと5月の2週間、私たちの第二の故郷に戻ったのは本当に嬉しいことでした。福岡での最初の朝、散歩から戻ってきた夫は、長く遠くに離れていた気がしないと言いました。

多くの懐かしい友人たちと会ったのは本当に楽しいことでした。私にとって特にワクワクしたのは、美しくイキイキしたAPのリーダーたちや受講生の皆さんがいっぱい集まった部屋にいた5月12日です。それは打ち解けた集いだったので、皆がお互いと交わったり、新しい人と紹介し合ったりしました。それから素敵な昼食をいただきました。

私は皆さんお一人お一人や、日本の親たちに教材やリーダーを提供するためにとても懸命に働いておられる野中さんと一緒に過ごせた時を大切に心にしまっています。

私はあるリーダーから頂いた美しい折り紙の箱（なんと、ふた付き！）とバラを大事に持って帰りました。そしてやはり他のリーダーが書いてくれた愛らしい手紙を今も大事に持っています。素敵な集いと特別な昼食会を共にできて本当にありがとうございました。

皆さんが、日本の忙しい親たちとAPのメッセージをどのようにして分かち合おうかと将来に向けて夢や計画を立てるにつれて、私は人々とつながり合うために皆さんが考えた新しく刷新的なやり方を聞くのを楽しみにしています。

皆さんお一人お一人に感謝し、APというプログラムを広げることに熱心であることに敬意を表します。APジャパン創設者、友人 ジューン・シート

訳：野口 紀子

今こそ、AP講座を広げよう！

年間せいぜい数名だったAP講座の受講生の数が、昨年から一気に増えました。2015年の受講生は32名。団体でのお申し込みがあったとはいえ、これまでには考えられない人数です。さらに今年に入ってから、昨年の受講生の中からリーダーになりたいという方が4名も手を上げてくださりリーダー養成講座も出ています。本当にうれしい状況です。

NPO法人アクティブ・ペアレンティング共育サポートにも変化がおきています。昨年秋から開催している『ガミガミ言わずに育てる方法』のワークショップは、事前に入金していただくことになっているにも関わらず、申し込みが多くて毎回10人近くのキャンセル待ちの状況。定員30名が埋まらずに、「どうしたら、集客できるのだろう…。」と考えていたこれまでが嘘のようです。

『嫌われる勇気』が売れたから？『アドラー心理学』が流行っているから？『NPOのチラシ』をプロに頼んだから？これまでの活動が認められたから？

原因は色々考えられますが、私はAPに対する大きな自信が、人に伝える力を強めているのではないかと感じています。

私がAPと出会ったのは今18歳の次女が小学2年生の時。APジャパン代表の野中さんの講演会を聞き、すぐに講座に申し込み、さらにリーダー研修を受け、今に至っています。その時、高校生と大学生だった上の子達には、あまりよい関わり方ができておらず、微妙な関係だったと思いますが、今では2人との関係も変化し、良い関係になっていると感じています。現在は、長女の2歳になる孫と、APを使った関係を楽しんでいます。私が経験することのなかった幼児期にもすごく効果があることが実感でき、さらにAPに対する確信を深めています。

また、私はファイナンシャルプランナーという仕事もしており、高等学校に「進学マネープラン講座」という話をしに行くのですが、その時にも必ずお話しするのがAPのことです。子どもの進学費用は準備できても、子どもの心の準備ができていなければ、それは本当に残念なことだと思います。大きなお金の問題と子どもの進路選択という

問題を分けずに話すと「誰がこのお金を出すと思っているの！」という言葉で子どもの進路選択を親の希望に沿うものに変更させられたりします。

でも、APを学べば「それは誰の問題？」で解決できます。親が出せるお金の範囲内で子どもは自分の進路選択をすればいいのです。制限の中での自由な選択です。それでも解決できなければ、ファミリーミーティングがあります。

人生をより良く生きるのに必要なことは、自分の周りにどれだけ良好な人間関係を持てるかだと思っています。その人間関係の基礎を作るのは親子関係です。親子関係が良好であることは人生を幸せに生きていくことの土台です。そう思うとAPを学ぶことはどんな方にとっても大きなメリットがあると思います。もし、自分の親との関係で問題を抱えていたとしても、APを学びながら自分自身を勇気づけていくことによって、人間関係をより良くしていきます。

今、福岡ではAPの流れが来ているように感じます。NPOでも個人でもこの流れに乗って、しっかりとAP講座を広げていきたいと思っています。そして、日本全国にリーダーさんがいて、どこでも講座がすぐに受けられるようになることを夢見ながら、私は日々、楽しくAPを実践していこうと決意しています。

最後になりますが、2013年に『お金と上手につきあう子になる育て方』という本を出版しました。APとFP、2つの仕事をする中での思いをたっぷり込めた一冊です。読めばAPの本だとわかっていただけたと思います。この時、本の出版に大きな力を貸してくださった編集者の方は、その後、東京でAP講座を受けられたそうです。このことは私にとって大きな喜びになった出来事でした。

私は今こそAPを日本中に伝えるチャンスだと思います。みんなで頑張ってAPを広げていきましょう！

福岡市トレーナー 鶴田 明子



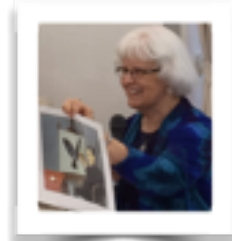
ジューン・シートさん来日！

5月12日、リーダー、受講生を交えて交流会

遠くは東京、神奈川、そして関西からもジューンさんを囲む交流会に駆けつけていただいたリーダーの方、またお忙しい中に参加いただいた方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。お陰様でも和やかに会がすすみ、2時間があっという間に過ぎてしまいました。

1985年にアメリカに帰国された際にAPを知り、日本でのお試し講座、そしてボランティアによる日本語に翻訳、さらにAPジャパンを立ち上げる時のご苦労やAPへの熱い思いを伺い「APもっと、がんばらなくては！」と勇気づけられた方も多かったのではないのでしょうか。ジューンさんもたくさんの方が熱心に聞いて下さってたいへん喜んでおられました。

これを機に、年内にリーダーと受講生共に集まって交流をする場を設けたいと思っています。その際にはぜひお出かけ下さいますよう、よろしくお願い致します。



NPO法人アクティブ・ペアレンティング共育サポート

私たちは5月より「ガミガミ言わずに育てる方法」と題したワークショップを福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」で行っています。

今回は「あすみん」の共催で、市政だよりも告知記事が掲載されたため申込みが殺到し、沢山の方々にキャンセル待ちして頂かなければならないほどです。それは「リトル・ママ」という子育て世代向きの情報誌から取材を受けたことや告知記事の反響も大きいようです。ちょうど「あすみん」と並行して5月より東区の「妙法寺福岡分院」で、また来る9月より「ももち文化センター」でも同じテーマのワークショップを行うので、「あすみん」でキャンセル待ちになった方々にはその2か所をご案内して、できるだけ多くの方にAPと出会う機会を持って頂きたいと思っています。

また、5月よりNPO主催でAP講座を開催しており、現在10名の方が受講中です。9月からは「ももち文化センター」と「妙法寺」の2か所でAP講座を行いますので、これからご案内の広報作業に取りかかる予定です。

今年度より、あらかじめAP講座の日程を決め、ワークショップでAP講座のご案内をして、オリエンテーション代わりの無料体験から受講へ…という流れを作ったところ、少しずつ受講希望者が増えていったように思います。ちなみに、日程の合わない方に関しては、別のリーダーが何らかの形でカバーするようにしています。

NPOの糸島グループは、昨年度に行ったアンケート調査の報告書が大変高評価で、糸島市からの厚い信頼を得ることができました。市のバックアップを得ながら今後AP講座をどのように展開させていくのか、ただいま模索中です。

理事長 佐藤由美

〜〜最終レポートから〜〜

八王子市 廣瀬 妙子

最近の子どもたちはコミュニケーション能力がとて乏しいと感じます。常に落ち着きがない子。自分の気持ちを言葉で表現できない子。すぐにキレたり奇声を上げる子。そのような傾向のある子どもたちは相手の立場に立って物事を考えたり、人の話を聞くことが苦手なコミュニケーションがじょうずに取れずに、さまざまな事柄がトラブルへとつながっていきます。

私の勤務している学童保育所では年々そのような子どもが増えています。

基本はみんな素直ないい子たちですが、自分や他人を傷つけながら関わり合っている姿を見ていると、私は可哀想でとても悲しくなります。そのような子どもたちを私は抱きしめてみたり、できる限り時間をかけて話を聴いてみたりするように心がけています。

起こった出来事を元に、その時イヤだった気持ちや考えていたことなどを共感しながら聴くことで、奇声を上げて騒いでいた子は落ち着き、言葉で表現できないと思っていた子はポツリポツリ・・・と、自分の気持ちを話したりします。ほんとうは友だちを傷つけようと思っているわけではなく、ただ溢れ出てくる思いをどう表現していいのかわからないだけなのだ気づかされます。同時に「私ではなく、自分の親に話を聴いてもらえたらどんなに嬉しいのだろうか」とも感じます。

学童は働いている家庭の子どもたちが通っています。いっしょに過ごしたくても時間の余裕がない保護者の方々は多く、話を聴いてみると、じつは自分の子育てに悩み、とても不安を抱えている方がたくさんいらっしゃいました。子どもたちはもちろんですが、親である私たちこそ、子育ての不安をどこかで受け止めてもらえる場が必要だと思います。

私はこのAPで学んだことを生かし、安心して子育てができるように講座を通しながらお手伝いをしていきたいと思っています。

埼玉県富士見市 浅見 由起子

このレポートを提出する今、私はまだ子育て真っ最中です。APの信念である以下のこと、

- ①「子育て」をきちんと果たしていくことはたいへん重要なことである。
- ②しかしそれは同時にたいへん難しいことでもある。

私自身、わが子の子育てはわからないことが多い、でもそれをきちんと果たしていきたい、もっと子育てについて知識があったらよりよい子育てができるのではないか、という思いから学び始めました。

私が子育てをしながら感じたこと、それは多世代（縦の関係）が減っていることです。同級生（横の関係）はそれぞれで同じが多くて楽しい。でも反面、うちはこれができる、うちはこれができない、など比べることも増えた気がしました。

また習い事などの低年齢化も進んでいます。スイミング、ピアノ、バレエ、空手、英会話、さまざまな右脳教育など、あの子がやっているからうちも習い始めようと、小さいうちからたくさんの習いごとをし、その送り迎えなどで私は躍起になり、子どもたちは詰め込みの習い事に疲れていた気がします。

赤ちゃんが生まれて、パパとママが手を携えて両親のつないだ手の中で愛しみながら育てていく、それがとても素敵なこと。でももしかしたらパパとママの結んだ手の間よりも、あばちゃんやおじいちゃん、地域近所の人、その子を知っているたくさんの人が手をつないで、その中で育つことができたら、その子の人生はより伸びやかで豊かなものになるでしょう。そうすると新米ママは安心して子育てできるのではないのでしょうか。

両親だけの価値観ではなく、たくさんの人の価値観の中で子育てできたら、その子どもが将来選べるであろう選択肢は増えるし、その子の自立も助けることになると思います。APは子どもの自立を助け、親の子離れも助けます。ここで得たたくさんの学びをぜひ今子育て真っ最中のママたちに伝えていきたいと思っています。



6月11日、東京ウィメンズプラザにて「リーダー研修会in関東」を開催

研修会は午前中は「それぞれの活動」を話していただき、ランチタイムには近くのステキなレストランで楽しくおしゃべりしながらいただきました。午後からは「AP講座を深めるための話、さまざまな講座の工夫、質問など」活発に意見が出されました。研修会前日は中瀬トレーナーのお声かけで受講生や研修会に参加できないリーダーの方々にお会いして短い時間でしたが、楽しくお話しすることができました。また研修会の翌日は、千葉袖ヶ浦市に在住の溝口リーダーのご自宅に伺い、受講生のお母さん、そしていっしょに受講した子どもたちにもお会いしました。今年もたくさんの方にお会いできましたこと、嬉しく思っています。みなさま、研修会お疲れ様でした。そしてありがとうございました。下記は参加された皆さまのアンケートから抜粋させていただきました。

- ☆ リーダーからの勇気づけの大切さと責任を学びました。フォローアップの進め方についてお話を聞き、フォローアップを続けて行こうと改めて思いました。年一度の研修は私にとって学びの場です。皆さんとつながっている感を持てます。また参加したいです。
- ☆ AP活動のさまざまな可能性を感じました。皆さんの話を聞いていると、あんなふうにも、こんなふうにもできるかもとアイデアが浮かび、意欲が湧いてきました。分かち合うことの素晴らしさを実感した一日でした。
- ☆ 講座やワークショップのつくり方、進め方、事例などはとても学ぶことも多く、参考になりました。APはテキストが必須だというルールを確認できて良かったです。
- ☆ リーダーのしごとはママたちへの勇気づけということをしっかり心に留めておこうと思いました。フォローアップの話もとても参考になりました。「APが大好き！」という同じ想いを持つ皆さんとこうしていろいろなお話しができることはたいへん幸せです。
- ☆ 体験談は具体的で参考になることが多いです。受講生の対しての声かけや質問の仕方がとても参考になります。講座をされている「現場」の話が聞けるのは嬉しいです。
- ☆ リーダーの役割として「親のエネルギー」を満たしてあげることが大切だと学びました。講座の場所が「お寺」「カフェ」「自宅」「ランチしながら」などもイメージが広がり、参考になりました。
- ☆ 講座やフォローアップの際に使う資料を気軽に使っていましたが、お金をいただく以上、著作権には深く注意を払わなければいけないと思いました。



「2016年リーダー研修会 in福岡」のご案内

みなさま、研修会のためにスケジュールを空けておいて下さい。
皆さまのご参加をお願い致します。

日 時：10月29日（土曜日）から30日（日曜日）
一泊二日（29日13時受付～30日12時解散です）

場 所：久山温泉ホテル夢家
〒811-2511
福岡県糟屋郡久山町久原1822
電話：092-976-1800

参加費：20,000円（当日にお願いします。）
宿泊費、研修費込み

申し込みは10月20日までにAPジャパンまでお申し込み下さい。



 **今回は、たくさんの連絡事項があります！** 

◎AP日本のホームページを開いたことがありますか？ PCだけではなく、スマホでも見ることが出来ますよ。

子育てアドバイスや徒然ブログを書いていますのでご覧ください。フォローアップにもなると思っています。またこれからのAP日本からの連絡はホームページでもお知らせしていきたいと思っています。数年後はスカイプでの通信講座を目指します。

◎ホームページにご自分の紹介、連絡先などを掲載して講座につなげましょう。

以前は全国のリーダー名と連絡先をホームページ上で紹介していましたが、プライバシーの問題でページを外しました。現在はホームページの中に「リンク」というページがありますが、そこに掲載して欲しいと希望されたトレーナーやリーダーのホームページ、ブログ、名前や住所、連絡先などを載せています。「私も載せたい！」と希望される方はどうぞご連絡下さい。

◎季刊誌「リンク」は、ホームページで見える？ それともやっぱり郵送がいい？

現在、季刊誌「リンク」は年4回、リーダー・トレーナー、そして受講生に郵送しております。

(受講生は講座を受講した年度は無料で郵送しています)

2017年新春号から季刊誌「リンク」をホームページ上で、誰でも、無料で見るようになるように進めていきたいと思っています。

ただリーダー研修会開催のお知らせやだじな連絡などは個人的に郵送でお知らせしたいと思います。なお季刊誌「リンク」をホームページ上にて公開する場合、これまではリーダー・トレーナーの皆さまにはリンク購読料も込めて年会費を頂いておりましたが、年会費につきましては現行のままお願いすることになります。

◎「APのつどい」を開催します。受講生もリーダーも参加OK!

これまでは久留米で2回ほど開きましたが、福岡市でも定期的に「APの集い」を年2回、5月と10月に企画したいと思っています。他の地域でも開きたいと希望があればお申し出下さい。

個々にフォローアップされていると思いますが、AP日本でも受講生のフォローアップを充実させたいと思っていますので、よろしくお願いします。参加費1,000円(飲み物・菓子あり)

◎リーダーの勉強会を開きます！ リーダーのみ参加OK!

9月から、第一月曜日10時30分から12時までリーダーの勉強会をします。9月は5日です。

リーダーになられた方のフォローアップ勉強会です。場所はAP日本事務所。内容は講座に必要な知識のすべてを学習します。参加費無料。

◎AP日本ではフォローアップ講座をしています。受講生ならどなたでも参加できます！

AP日本事務所(城南区茶山2-2-5)で毎月2回、10時から12時までと、14時30分から16時30分までフォローアップ講座を開いています。APを受講された方ならどなたでも参加できます。次回は9月9日10時からです。14時30分からのフォローアップ講座は9月は未定です。日程はお問い合わせ下さい。参加費1,000円



しゅんすけ日記

○月×日

日曜日、車で少し遠くの公園まで遊びに行きました。そこには階段がたくさんあります。いつものように、しゅんすけは「だっこ！」もう13キロ。重たくて抱っこも長い間はできません。「手をつないで歩こう」といってもダメ。「お母さんが階段を降りるのを手伝って」とお願いすると、手をつないでいっしょに歩いてくれました。「手伝ってくれてありがとう、助かったよ」というと、にっこり。



APジャパンからのお願い



おめでとうございます。
新リーダーのご紹介
(敬称略)

- ☆ 八王子：廣瀬 妙子
- ☆ 埼玉県：浅見 由起子

👀リーダー養成講座を終了した方でまだレポートを提出されていない方がいます。リーダー養成講座をされたトレーナーさんは、レポートの提出までしっかりサポートをお願いします。

☆ 講座が始まりましたらすぐ受講生の名簿をお送り下さい。その際には郵便番号とお名前にふりがなをつけてお送り下さい。また転居された場合はご連絡下さい。

☆ 年会費はリーダー資格登録年会費(6,000円) トレーナー登録年会費(10,000円) となっております。この年会費にはリンク購読料も含まれております。お間違いないようお願いします。登録年会費は年内に納入をお願い致します。

☆リーダーの方で退会される場合にはかならずご連絡下さい。

☆ APジャパンの住所は今までと同じですが、住所内(事務所)には常駐しておりません。テキストの注文や受講生名簿の送付などのAPジャパンへのご連絡はできるだけ携帯電話あるいはメールでお願いします。

☆ テキスト(4,000円) やキット(50,000円) などの教材は、講座を受講しなくても購入することができます。その場合は講座を開くことはできません。購入のお申し込みはAPジャパン事務所までお願いします。

APジャパン事務所 (代表 野中 利子)

☎：携帯電話：090-8391-3196

携帯メール toshiko-mama-718@ezweb.ne.jp

P Cメール apjapan@activeparenting.or.jp

あとがき：雨が上がり、あつ〜い夏本番！そしてなが〜い夏休み。今年の夏休みもご家族で楽しい思い出をたくさん作って下さいね。今回から登場する「しゅんすけ日記」は、もうすぐお兄ちゃんになる2歳10ヶ月のしゅんすけ君と日々奮闘している二女からの便りを掲載しています。初めての子育てなのに、(イライラしながらも)うまく切り抜けたり、工夫したりして対処していることに感心させられます。第2子が生まれると、また違った難しさに出合うかもしれません。そんなときには「ばあば」の力を発揮！できるかも……。あるリーダーさんは「APを孫に使ったら、ととても効果があった！」と言ってました。気持ちにも、時間にもゆとりのある「ばあば」。ばあばのAPがこれから広がっていくといいな〜。今、9月にママになる娘さんとそのお母さんが受講中です。「娘とのいい時間になっています」と感想を寄せて下さったお母さん。ママとばあばからAPで育てられる子どもはきっと幸せだよね〜

APP社のホームページ

<http://www.activeparenting.com>

APジャパンのホームページ

<http://www.activeparenting.or.jp>



AP講座へ急がなくちゃ！

「リンク」はAPジャパンの印刷物です。

© 2016 発行者 APジャパン

代表 野中 利子

〒814-0111

福岡市城南区茶山2-2-5 (事務所)

電話：090-8391-3196

FAX：092-851-8606

apjapan@activeparenting.or.jp

「リンク」は年間4回の発行で2,000円です。